

市長コラム

夢かなうまち  
おびひろ

新しいワインは  
新しい革袋に

帯広市長 米沢 則寿



「新しいワインは、新しい革袋に盛れ」一昔、ワインは革袋で熟成していたため、古びた袋に入れていると発酵時のガスで革が張り裂けてしまったそうです。ワインも袋も無駄にしたくない生活の知恵が「新しいことをするには、新しい形式が必要である」という意味のことわざとして伝わり、今も「革袋」を組織や制度などに例え、大きな改革を行う際に用いられることがあります。

4月、市では12年ぶりに組織の大幅な見直しを行います。前回の組織再編から人々の生活スタイルや価値観が大きく変化しました。私が就職した頃は大都市に住み、大企業に勤めないとビジネスに必要な情報を得たり、人脈を広げたりすることが難しい時代でしたが、今は、地方に住んでいても情報や移動のコストなどの格差が少なくなり「東京が一番。大企業に入れ

ば有利。」といった常識は、過去のものになるうとしています。また、栄養ドリンクの「24時間戦えますか」というキャッチコピーが流行った時もありましたが、人間では長時間かかってしまう膨大な作業も、これからはどんなに働いても疲れないロボットや人工知能が短時間で正確に行えるようになると言われています。

時代とともに仕事や生活へのニーズや考え方が大きく変わり、新しい技術やさまざまな民間サービスが生まれる中で、改めて地方にしかできないことは何か、行政がやるべきことは何かを考え、提供するサービスや仕事の仕方を変えていくことが必要ではないかと思えます。

新しい組織と同時にスタートする「総合計画」では、十勝・帯広の歴史や文化を大切に、みんなで前向きに行動していくまちを目指すため、将来のまちの姿を「おおお ひろひろ いきいき 未来を信じる帯広」と表現しました。まちの姿の実現に向け、職員一人ひとりが自らの役割を考え、連携・協力しながら、組織力を発揮していくことが大切になります。

「組織で動け、組織図で動くな」以前、オリックスの会長だった方が、社員に言い続けてきた言葉です。組織図に基づいて動く、縦割りや縄張り意識が発生しやすいため、視野を広げ、同じ目標に向かって一緒に動いていることを意識しろ、という意味のようです。

福祉分野や産業間の連携など、さまざまな観点から見直した新しい組織で、視点も新たに市民の皆さんが住み続けたいと思えるまちづくりを進めていきます。

**タベルナ・ラ・オビヒロ**

「タベルナ」とは欧州で食堂や居酒屋などを表す言葉です。帯広にちなんだ料理をご紹介します！

今回のテーマは **健康メニュー**

小松菜の海苔あえ

材料 〈2人分〉

- 小松菜…80g
- 鶏ささみ肉…40g(1枚)
- 桜エビ…4g
- 焼きのり…1/2枚
- ショウガ…4g
- だし汁…大さじ2
- しょうゆ…小さじ1/3

調理手順

1. 小松菜をゆで、しっかり水切りし、3cmくらいの長さに切る。
2. 鶏ささみ肉は筋を取り除き、ゆでて、手で割いておく。
3. 桜エビは空煎りしておく。
4. 焼きのりは手で細かくちぎる。
5. ショウガは皮をむき、千切りにする。
6. 小松菜、鶏ささみ肉、桜エビ、ショウガ、だし汁、しょうゆを入れてよく混ぜ、最後に焼きのりを加えてさっとあえる。
7. 器に盛り付けて完成！

「20周年レシピ集」にも掲載されているヘルシーな人気レシピをご紹介します。簡単に作れるので、ぜひお試しください。お弁当のおかずにもピッタリですよ！



帯広市食生活改善推進員の皆さん



桜エビや焼きのり、ショウガを使用することで、うま味や香りが加わり、減塩でもおいしく食べることができます。また、小松菜や桜エビにはカルシウムもたっぷり含まれているので、幅広い世代の人にお勧めです。

食生活改善推進員を大募集！



食事のバランスの大切さを指導することも

帯広市食生活改善推進員協議会は、食を通じて市民の健康づくりをサポートするボランティアです。月1回の勉強会や調理実習などを通して、楽しく会員同士の交流を図り、得られた情報を市民の皆さんに伝えています。

食生活改善推進員になるには、健康に関する知識や食事の工夫、手軽にできる運動などが学べる養成講座を受講する必要があります。養成講座は例年6・7月頃の開催で、広報おびひろに募集の案内を掲載しています。

皆さんも、家族や大切な人の健康について一緒に考え、楽しく交流してみませんか。

市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ(毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20 おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。問い合わせ 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、FAX23・0156、Eメールreport@city.obihiro.hokkaido.jp)

OBHIRO CAMERA REPORT オビヒロカメラレポ

親子で帯広交響楽団の演奏が楽しめる「第31回親子のわくわく音楽会」が開催されました。演奏会前に楽器体験コーナーが設けられ、子どもたちは普段なかなか触れられない楽器を順番に体験し、興奮した様子でした。

親子のわくわく音楽会



演奏会では、クラシックに加え、誰もが知っているアニメや映画の楽曲などが演奏されました。また、子どもたちの指揮者体験や、東京五輪の応援ソング「パブリカ」の演奏に合わせて踊ったりと、聞くだけでなく親子一緒に楽しめる工夫が満載のコンサートでした。(1月26日、市民文化ホール)



おびひろ氷まつりが今年も緑ヶ丘公園一帯で開催されました。今年は雪不足のため、巨大滑り台の代わりに、丘を利用したミニ滑り台がレーンを増やして登場し、子どもたちは寒さにも負けず、夜でも元気に遊んでいました。



また、2夜連続の花火大会が夜空を彩り、紙袋で作られたランタンの光で足元が優しくともされるなど、真冬の帯広に幻想的な空間を演出してくれました。(1月31日~2月2日、緑ヶ丘公園)

